

渋川市は20周年



渋川市20周年

市は、2月20日で合併20周年の節目を迎えます。
この特集では、市の20年のあゆみをはじめ、はたを祝つ会等の20周年記念事業、し
ぶかわ応援大使や市民の皆さんからのメッセージなどを紹介します。
いろいろな出来事があった20年、皆さんでこの節目を盛大にお祝いしましょう。
詳しくは、[市広報室\(027-278-2182\)](http://www.shibukawa-city.jp)へ。



■新渋川市誕生

2006年(平成18年2月20日)、渋川市・伊香保町・小野上村・子持村・赤城村・北橋村の6市町村が合併し新「渋川市」が誕生しました。

11月 ■「全国地芝居サミットinぐんま・渋川」が赤城町上三原田の歌舞伎舞台で開催



2月 ■渋川市の歌「力合わせて」が完成し発表会と芹洋子さんの記念コンサートを実施



4月 ■新市のシンボルとキャッチフレーズ決定

【市の花・木・鳥】



【キャッチフレーズ】
日本のまんなか
水と緑といで湯の街 渋川市

4月 ■伊香保温泉石段街が延長



12月 ■日本初の発見！「甲を着た古墳人」に全国が注目



2010年(平成22年) 2月 ■市民憲章を制定

2012年(平成24年)

2013年(平成25年)

2014年(平成26年)

2015年(平成27年)

2016年(平成28年)

2017年(平成29年)

2018年(平成30年)

2019年(平成31年)

2020年(令和2年)

2021年(令和3年)

2022年(令和4年)

2023年(令和5年)

2024年(令和6年)

2025年(令和7年)

祝

2月20日 ■新市誕生20周年

市制20年のあゆみ

20周年の感謝を胸に、 「オール渋川・チーム渋川」で未来へ

合併20周年に当たり、市民の皆さまと共にこの記念すべき節目を迎えられたことを、心より光栄に思っております。

また、この20年という歳月を共に歩み、市政を支えてくださった市民お一人おひとりに、深く感謝を申し上げます。

本市は、赤城山、榛名山、利根川、吾妻川などの豊かな自然や伊香保温泉をはじめとする観光資源、そして何より温かな市民の皆さまという宝物があります。

20周年の感謝を胸に、子どもたちが夢を描き、誰もが安心して自分らしく輝ける渋川の未来を創るため、これからも市民の皆さまと共に「オール渋川・チーム渋川」で歩んでまいります。



渋川市長 星名 建市



3月 ■渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館が渋川市役所第二庁舎にリニューアルオープン

12月 ■しぶかわ電子地域通貨「渋Pay」誕生



2月 ■渋川市民会館リニューアルオープン

10月 ■共生社会ホストタウンへの登録を契機に「共生社会実現のまち渋川市」をアピール



3月 ■東京2020オリンピック聖火リレー



2月 ■赤城公民館竣工



2月 ■新市誕生10周年記念式典

4月 ■渋川すこやかプラザオープン



〈渋川市20周年記念事業〉

渋川市20周年記念事業として届出があった事業を紹介します。(1月21日時点)

■市民や団体、企業などが実施するもの

- ▷ 渋川市民スポーツ祭ラグビーフットボール大会(小学生の部・春の開催)
- ▷ 渋川駅前通り歩行者天国「しぶほこっ」
- ▷ 1000人ROCK FES.GUNMA 弐零弐伍
- ▷ 元気をつなごう!ランタン祭りinおのがみ
- ▷ 心と身体を整えるバランスボールセミナー
- ▷ 伊香保ハワイアンフェスティバル2025
- ▷ しぶかわアニバーサリーフェスタ〜ふるさと渋川の未来を食と音楽と芸術で奏でる〜
- ▷ 伊香保まつり
- ▷ 渋川市民スポーツ祭ラグビーフットボール大会(小学生の部・秋の開催)
- ▷ 黒井峯夕音フェス
- ▷ みんなの昼夜の遊園地しぶかわハロウィンコレクション
- ▷ 「子どもの力を伸ばす大人の力」講演会
- ▷ 「合理的配慮と防災」パネルディスカッション
- ▷ 第8回しぶかわスポーツクラブまつり
- ▷ 渋川・戦国三国志450年祭開催事業
- ▷ 渋川市民吹奏楽団「しぶすいフェス」
- ▷ 渋川市民スポーツ祭ラグビーフットボール大会(高校生の部)
- ▷ Let'sおしごとチャレンジ inしぶかわ
- ▷ 渋川市20周年記念定期預金
- ▷ 第49回県民芸術祭参加事業・県民音楽のひろば群響渋川ニューイヤーコンサート
- ▷ 行幸田獅子舞ワークショップin行幸田保育園
- ▷ SHIBUKAWA ROCK CIRCUIT2026

■市または市が事務局を務める団体が実施するもの

- ▷ ふるさと納税(渋川市誕生20周年プロジェクト)
- ▷ 第24回白井宿八重ざくら祭り
- ▷ 三国脇往還白井宿第32回彌酔の句会
- ▷ 第20回市民スポーツ祭総合開会式
ほか38件

詳しくは、右の2次元コード
先の市ホームページで紹介して
います。ぜひ、ご覧ください。



6月1日
1000人ROCK FES.GUNMA 弐零弐伍



9月13日
しぶかわアニバーサリーフェスタ
〜ふるさと渋川の未来を食と音楽と芸術で奏でる〜



12月14日
Let'sおしごとチャレンジ inしぶかわ



7月29日～8月1日
伊香保ハワイアンフェスティバル2025



6月14日
元気をつなごう!ランタン祭りinおのがみ



11月8日
第8回しぶかわスポーツクラブまつり



市は、20周年を市民と共に祝い、市民の一体感の醸成と市のさらなる飛躍につなげるため、市民や団体、企業などからこの節目を盛り上げるイベントなどの取り組みを募集しています。
これまで、左記のとおり多くの取り組みが「20周年記念事業」の冠を付け、市と市民が共に祝う動きが広がっています。
詳しくは、[図⑤85554](https://www.city.shibukawa.lg.jp/20th)へ。

20周年記念 ロゴマーク



渋川市20周年

市のキャッチコピー「いで湯の街」をモチーフに、合併前の6市町村を「いで湯の湯気」で表現しています。市の花、市の木、市の鳥で20周年のお祝いに彩りを添えます。

公募・市民投票により決定し、20周年記念事業などのシンボルとして活用しています。

みんなで創る 未来のしぶかわ
一人一人が主役の20周年記念事業！

インタビュー 過去の自分からの手紙



はると
豊田 陽大さん
(渋川地区出身)

大好きな「野球」を大学で続けています。高校1年生のときには、志望校で甲子園に行くことができました。凡事徹底やチームプレーなど、野球から得たことを胸に今後も頑張ります。未来の渋川も温かく、心が落ち着くまちであってほしいです。

式典会場では、(一社)渋川青年会議所の事業で小学6年生の時に書いた「二十歳の自分への手紙」が手渡されました。中には、中学校の授業で書いた手紙を手に、当時の自分と向き合う人もいました。今回、手紙を受け取った人に、まちと共に歩んだ20年の思いを聞きました。



安藤 光志朗さん
(渋川地区出身)

手紙に書かれた将来の夢はプロ野球選手。高校時代は野球に打ち込み、今はスポーツに関わる弁護士を目指しています。自分の20年を一言で表すと「濃い」です。都会とは異なる、渋川らしい充実した子育て環境・教育を、誇れる形で未来に残してほしいです。



(左から) 豊田 夏芽さん・武居 紅葉さん・田村 葵さん
(渋川地区出身)

「未来でも仲良し」と手紙で宣言した通り、今でも仲良し3人組です。この20年、私たちと渋川市、姿形も中身も大きく成長しました。今、私たちは、夢に向かって進んでいます。渋川市も、活気あるまちを目指して、前進してほしいです。



高橋 風輝さん(中央) (子持地区出身)

手紙にあった「続けること、あきらめないこと、それが夢をかなえる一番確実な方法です」という言葉が、心に残りました。苦労も多かったけれど、当時の自分に胸を張れる20年でした。今後、渋川市がさらに活気づくことを期待しています。



委員長 萩原 心輝さん(北橘地区出身)

開催に向けて毎月1回会議を行い、ポスターや式典後の企画などを検討し、準備を進めてきました。大変でしたが、楽しみながら皆が協力し合って取り組み、楽しい祝う会になりました。

渋川市は住みやすいまちですが、良さが十分に知られていないと感じています。「群馬といえば渋川市」といわれるようになってほしいです。

はたちを祝う会を迎えて

祝う会当日までの準備は大変でしたが、運営委員のメンバーはとても仲が良く、良い雰囲気の中で作業を進めることができました。

現在は、生まれ育った伊香保で暮らしながら、2年目の社会人生活を送っています。大好きな温泉をはじめ、豊かな自然やまつりなど、伊香保の良いところがこれからもずっと続いてくれるとうれしいです。

副委員長 関 萌さん(伊香保地区出身)



1月11日に市民会館で、渋川市20周年記念事業 令和8年「渋川市はたちを祝う会」が開催されました。式典の対象者は、609人で、式には、480人が参加しました。式典では、はたちを祝う会運営委員が「はたちのことば」として、20歳を迎えた気持ちや今後の抱負を述べました。式典後には、運営委員が抽選企画を実施し、会場は大いに盛り上がりました。詳しくは、生涯学習課(☎25500)へ。



10周年記念式典の様子



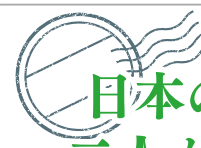
記念式典のご案内

渋川市の誕生から20周年の節目を市民の皆さんとともに祝い、これまでの歩みに感謝を表すとともに、今後の市政発展につなげるため、「みんなで創る 未来の渋川」をコンセプトに記念式典を開催します。

詳しくは、秘書室(☎2110)へ。

とき 2月21日(土)午前10時
正午(開場は午前9時から)
ところ 市民会館
内容 ▽オープニング(午前9時15分から上映) ▽渋川市PR動画の上映 ▽第一部 記念式典 ▽第二部 市民吹奏楽団、小中学生による演奏
対象 第一部、第二部とも観覧ができる、市内在住・在勤・在学の人
定員 250人(先着順)
参加料 無料

申込方法 ①氏名・住所(在勤者は勤務先名、在学者は学校名)・電話番号を、電話またはメール(hisyo@city.shibukawa.gunma.jp)と秘書室へ②下の2次元コードから申し込み
申込期間 2月1日～12日(木)
※電話での受け付けは、土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時15分
ホームページID 15208
■感謝状被贈呈者の紹介
記念式典において、市政への協力に対する感謝の意を込め、感謝状の贈呈を行います。
対象 合併後、市全域を活動対象としている公共的団体の長として在職した人で、現在その職を退いている人
被贈呈者
①元渋川市自治会連合会会長 ▽(故)田村 勝さん ▽大澤 歳男さん ▽角田 雅保さん ▽(故)須田 孝さん ▽一場 秋雄さん ▽塩谷 敏昭さん ▽中澤 康光さん ▽齋藤 忠則さん ▽高橋 尚弘さん
②元渋川市環境美化推進協議会会長 ▽南雲 泰弘さん
③元渋川市社会福祉協議会会長 ▽小澤 義孝さん



日本のまんなか しぶかわ応援大使の二人からメッセージをいただきました



森永 一衣 様 (ソプラノ歌手)

新市誕生20周年、誠にありがとうございます。渋川市で生まれ、日本とイタリアでソプラノ歌手として活動が続け、34年になります。2010年に渋川市観光大使第一号を拝命し、現在は「しぶかわ応援大使」として市のPRに努めております。渋川市で生まれた「森永一衣後援会」は創設37年を迎え、多くの皆様に支えられながら、姉妹都市記念リサイタルなど、貴重な体験もいたしました。これからも「豊かな自然と人の和」を大切にする市民性が、文化として継承されることを心から願っております。



一倉 宏 様 (コピーライター)

新「渋川市」誕生20周年、おめでとうございます。旧「渋川市」誕生の年に誕生した私にとっては、20歳となった若いあなたは「孫」のようにも思えます。20歳といえば、青春のまっさかりで、夢と可能性に胸をときめかせる、そんな熱い季節でしょうね。この町で生まれ育った私は、坂を登った大きな「眺望」、広々とした空や鮮やかな山並みが、大好きでした。「新市」となってスケールはさらに広がり、その眺望はいつそうダイナミックなものとなっていることでしょう。

未来へつなぐ 私たちのメッセージ

20年のまんなか ~10歳が見つめる渋川市の今と未来~

津久田人形芝居や上三原田の歌舞伎舞台など、歴史ある文化を身近に感じられるところが、渋川市の魅力だと思います。

毎日の学校生活が楽しく、近所の人同士の仲が良いところも気に入っています。

学校までの登校距離が長い地域も多いので、通学バスなどで安心して学校に通えるまちになってほしいです。



兵藤 沙咲さん (津久田小学校4年)

渋川市の好きなところは、人が優しいところです。学校や地域の人温かく、雪が降って困っていたときに雪かきなどで助けてもらったことが、今も心に残っています。

未来の渋川市は、発展しても自然がたくさんあるまちであってほしいです。川遊びが好きなので、アユの放流や石拾いができる環境を、ずっと残してほしいです。



狩野 陽姫さん (小野上小学校4年)



広報しぶかわ創刊号に載った人へ 再びインタビュー 〈20年の変化と未来像〉

創刊号のインタビューで観光地としての発展を願いましたが、この20年、東日本大震災やコロナ禍があり、観光業は深刻な打撃を受けました。今は上向き傾向にあり、伊香保は新規オープンのお店が増え、メディアにも取り上げられるなど、活気を感じています。

人口が増え、よりまちが盛り上がるように、教育や子育て環境が充実してほしいです。



岡部 晃子さん (伊香保地区・旅館)

時代は平成から令和に変わり、孫と出会えたことは喜びです。町中は商店や人口が減り寂しさを感じていますが、若者・団体・企業などが開催する町おこしイベントは、笑顔があふれ、希望や期待を感じています。若者が集い、活躍できるまちになってほしいです。



吉田 由美子さん (渋川地区・生花店) 写真：右下